

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「六本木に日本酒専門バー」
- 2) 「チリメンモンスター」
- 3) 「なくせ！振り込め詐欺」

1) 「六本木に日本酒専門バー」

ボージョレ・ヌーボー解禁日の今月 20 日に、300 円で 3 種類の日本酒の飲み比べができる「SAKE-BAR」が東京・六本木に登場した。

21 日までの 2 日限定で、日本酒の人気低迷に歯止めをかけようと灘や伏見の有名酒造会社 10 社が主催。各社のブースで女性店員がお酒を振る舞った。

ボージョレのイベントと勘違いして来た来場者もいて、便乗ではないかとの声もあったが、主催者側は偶然であるとしている。

日本でも非常に有名で、解禁日も広く認知されている「ボージョレ・ヌーボー」でも、ここ数年消費数は伸び悩んでいて、ピークの 04 年に比べるとほぼ半減した。

あるアンケートでは解禁日をイベントとして楽しんでいるという消費者が 4 割おり、ボージョレの味自体に魅力は感じていないのかもしれない。

そんな中、こうした知名度に便乗(?)したイベントで、他の種類の酒が競ってアピールし、魅力を知ってもらおうというのは、一つの手であると思われる。

消費者の目線でも飲み比べ等ができることは新しい発見もあって良い機会である。

2) 「チリメンモンスター」

ちりめんじゃこに紛れたカニ・エビ・小魚などの総称。通常は加工のときに取り去られてしまうのだが、きしわだ自然資料館(大阪府岸和田市)が定期的に観察会を開きホームページで紹介してから、子供たちの間で話題となっている。

ちりめんじゃこの中に紛れ込んでいるので、それを探し出す楽しみがあり人気沸騰。チリモンを除去しないままのじゃこが欲しいとの要望があり、カネ上(和歌山県)から未選別の「じゃこパック」の販売が今年から始まった。

子供たちは探し出したチリモンを図鑑と照らし合わせ、名前を確認したり標本作りをし、夏休みの自由研究にも役立てている。

ブログや情報番組にも紹介され、普段目にしない魚類が多いので夢中になってしまう大人も増えているようだ。スーパー・百貨店のイベントとしてもおもしろいかもしれない。

3) 「なくせ！振り込め詐欺」

郵便小包サービス「エクスパック」を使った振り込め詐欺が増える中、岩国市の40代の女性が、県警作製の注意喚起チラシを見て被害を免れた。専用封筒を購入するために訪れたコンビニエンスストアで、レジ前の目立つ位置に置かれていた。県警は「見やすい所に置いてくれたのがよかった」と話している。

電話口の相手に言われるがまま、女性は近くのコンビニ「ローソン玖珂和木店」で専用封筒を購入したが、その時レジの前に置かれた「エクスパックを悪用した振り込め詐欺に注意！」のチラシの文言に目が止まり、岩国署に相談。詐欺と判明した。女性は「黄色で目立ち、手に取ってみた。気付いて本当によかった」と振り返る。

店では事件後、エクスパック購入者にはチラシを手渡し、「振り込め詐欺に気をつけてください」と声をかけている。

ニュース等でそういった事件が多発していても、「まさか自分が」と多くの方が思っているだろう。最後の最後にこうして注意を促すことで、未然に防ぐことができるものというものは何事にもあてはまらと思う。

幅広い年代の人が訪れるコンビニやスーパーではこうした配慮がもっともっと必要とされるのではないか。